

言語文化教育研究学会 第7回年次大会プログラム (オンライン開催)

一日目：2021年3月5日(金)

18:00-20:00	委員企画トークセッション (会議室1)
表現の自由をめぐる交渉	
シンポジスト：鷺田めるろ (十和田市現代美術館館長), 藤井光 (美術家), 星野太 (美学者)	
モデレーター：松田真希子 (金沢大学)	

二日目：2021年3月6日(土)

10:00-12:45	口頭発表		10:00-13:15	委員企画フォーラム
会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	
①10:00-10:30 感謝場面における日韓大学生の言語使用—感謝に対する応答ストラテジーを中心に— 呉恵卿 (国際基督教大学), 金明熙 (駿台外語&ビジネス専門学校)	①10:00-10:30 日本の観光業における外国人就労者の課題に関する一考察—沖縄での調査を中心に— 宮城貴子 (立命館大学)	①10:00-10:30 市民をつなぎ、ことばを育てる場としての対話型美術鑑賞の可能性—対話型美術鑑賞を行う市民ボランティアのための日本語ワークショップから— 眞鍋雅子 (NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち)	①10:00-11:30 委員企画フォーラム1 第二次世界大戦を背景に言語文化間を移動した人たちの語り—台湾, カナダ, アメリカにおけるインタビューから— 福村真紀子 (多文化ひろば あいあい), ロマン・パシュカ (京都大学), 遠藤ゆう子 (早稲田大学), 佐藤貴仁 (慶応義塾大学)	
②10:45-11:15 スライドを使った発表におけるノートテイキング—留学生を対象に— 高村めぐみ (愛知大学)	②10:45-11:15 日本語教室談話における学習者の自発的発話の再考—教室談話構築過程の研究から教室内日本語学習過程の研究へ— 加藤伸彦 (東海大学)	②10:45-11:15 地域日本語教育における「対話型教室」の「対話型」とは何か—A 県の地域日本語教育において中核的な役割を担ってきた B の語りから— 内山喜代成 (名古屋学院大学), 千葉月香 (東海日本語ネットワーク), 米勢治子 (東海日本語ネットワーク)		

言語文化教育研究学会 第7回年次大会 「アートする」教育予稿集

会議室 1	会議室 2	会議室 3	会議室 4
<p>③11:30-12:00 LINE チャットから見るマルチモーダルなコミュニケーション</p> <p>柳東汶 (早稲田大学)</p>	<p>③11:30-12:00 「いい看護師」を体現すること—ある EPA 介護福祉士候補者の語りから見える介護観—</p> <p>藤原京佳 (京都産業大学)</p>	<p>③11:30-12:00 ソーシャル・エンゲイジド・アートの手法を使用した教室活動についての考察</p> <p>横田隆志 (北陸大学), 倉沢郁子 (関西外国語大学)</p>	<p>③11:45-13:15 委員企画フォーラム2 サハリンをめぐる写真と語り—露・韓・日そして先住民が織りなす言語・文化の多様性に学ぶ「共に生きる」チカラ—</p> <p>佐藤正則 (山野美容芸術短期大学), 斎藤弘美 (NPO 法人日本サハリン協会), 金サジ (写真家)</p>
<p>④12:15-12:45 なぜ言語学習者は描画に夢中になるのか—ことばに依存する日本語教育の限界と誤解, そして希望—</p> <p>萩原秀樹 (インターカルト日本語学校)</p>	<p>④12:15-12:45 創造的な教育活動を用いた学部留学生と日本人学生の多文化共生の促進への取り組み</p> <p>カースティ祖父江 (日本福祉大学), 田中真由美 (日本福祉大学)</p>	<p>④12:15-12:45 批判性を育むための英語教育—消滅危機言語問題をテーマに問いを立てることを通して—</p> <p>中原瑞公 (広島大学)</p>	
<p>12:45-13:30 昼休み</p>			
<p>13:30-15:30 パネルセッション (会議室 1)</p>			<p>13:15-15:15 (会議室 4) 委員企画ワークショップ</p>
<p>オンラインでの対話的活動の可能性—南米における実践報告—</p> <p>松田真希子 (金沢大学), 横溝みえ (マイリポラン同志会日本語学校), 渡辺久洋 (ピラール・ド・スール日本語学校), 細川英雄 (言語文化教育研究所)</p>			<p>委員企画ワークショップ1 Distant Theatre ~身体から拓かれる教育 小木戸利光</p>
<p>15:45-17:15 委員企画フォーラム (会議室 1)</p>			<p>15:30-17:30 (会議室 4) 委員企画ワークショップ</p>
<p>委員企画フォーラム 3 オンライン授業における演劇を導入した言語教育の可能性 飛田勘文 (早稲田大学), 中山由佳 (山梨学院大学), 西村由美 (関西学院大学)</p>			<p>委員企画ワークショップ2 Reflection fig.4: Self Willimann/Arai</p>

三日目：2021年3月7日（日）

10:00-12:40 大会シンポジウム（会議室1）			
アートが拓くことばの教育の未来			
シンポジスト：岩瀬直樹（軽井沢風越学園），熊倉敬聡（芸術文化観光専門職大学），藤井光（美術家），三澤一実（武蔵野美術大学） モデレーター・司会：嶋津百代（関西大学）			
12:45-13:30 昼休み			
13:30-15:50 口頭発表			委員企画ワークショップ
会議室 1	会議室 2	会議室 3	会議室 4
①13:30-14:00 ことばの学び方を学ぶ授業のデザイン—学習者オートノミーの育成を目指して— 義永美央子（大阪大学）	①13:30-14:00 医療現場におけるユーモアを目的とした業界用語の使用およびその倫理観—看護師へのインタビュー調査から— POPOVA EKATERINA（大阪大学）	①13:30-14:00 「日本語教育人材に必要な資質・能力」の内容は示されたか？—全体像をとらえるための別解— 宇佐美洋（東京大学）	①13:40-15:40 委員企画ワークショップ3 瞑想する教育 熊倉敬聡（芸術文化観光専門職大学），井本由紀（慶應義塾大学）
②14:15-14:55 Learners' stories: Using zine in language classes 学習者のストーリー：Zine を使う言語の授業 鈴木栄（東京女子大学），Sally Bowen（University of the Arts London）	②14:15-14:55 生の雑談を「聞き手参加型聴解」教材へデザインする—芸術としてのコミュニケーションを目指して— 奥野由紀子（東京都立大学），金庭久美子（立教大学），山森理恵（横浜国立大学）	②14:15-14:55 日本語教育における哲学対話—対面およびオンライン授業実践における本質観取の試み— 稲垣みどり（山梨学院大学）	

言語文化教育研究会 第7回年次大会 「アートする」教育予稿集

会議室 1	会議室 2	会議室 3	
<p>③15:10-15:50 言語形成期に東アジアを移動した若者のアイデンティティ形成のプロセス—アイデンティティに葛藤が生じる原因に焦点を当てて— 藤越（東京大学）</p>	<p>③15:10-15:50 芸術の〈わざ〉と〈ことば〉をつなげる—日本の芸術家の事例から考える教育のあり方— 渡辺紀子（立命館大学）</p>	<p>③15:10-15:50 実践授業「3.11 と希望の日本語」—未曾有の惨事を知り、学び、忘れないために— 萩原秀樹（インターカルト日本語学校）</p>	
16:05-17:35 フォーラム			
会議室 1	会議室 4		
<p>言語文化教育とサンドボックスゲーム Minecraft—創造と学習と遊びが織りなす綾— 宮本敬太（立命館大学），SHIN Juhyung（立命館大学）</p>	<p>「聲にならない」をアートする— 「共に在る」ためのことば学— 横田和子（広島修道大学），岡本能里子（東京国際大学），岩坂泰子（広島大学）</p>	<p>発表は中止となりました</p>	

*今大会では懇親会に代わり，3月6日（土），7日（日）の発表終了後，アフターセッションを実施します。
詳細につきましては，参加者にお送りする ZoomURL が記載されたプログラムをご覧ください。